

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分県大分市大字福宗 1679

団体名 アート村プロジェクト

代表者氏名 泊 麻未

電話 080-1787-9758

担当者名

担当者連絡先

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1. 交付決定年月日 令和 5 年 8 月 28 日
交付決定番号 協働第 1044 号

2. 事業名 アートやものづくり体験型マルシェ～多世代交流で地域を元気に！～

3. 補助金の交付決定通知額 157,752 円

4. 補助金の概算交付額 0 円

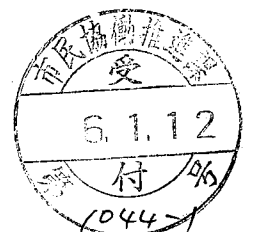
5. 補助金の精算額 157,752 円

6. 事業の成果

- ・アートやものづくりを入り口に多くの世代を巻き込み、市民福祉に取り組む関係人口をつくることができた。
- ・学校教育の現場では難しい、社会福祉や地域コミュニティの実践の場として、学生やこどもの学びの場を提供することができた。
- ・少子高齢化が進む地域において、地域が主体となりイベントを実施した。生きがい対策や健康寿命の向上に繋がるキッカケを得ることができた。
- ・大分の文化や歴史に若い世代が直接触れる機会となり、郷土愛を深める生涯学習の場を創出した。

7. 添付書類
- (1) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
 - (2) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
 - (3) その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	アート村プロジェクト			
事業名	アートやものづくり体験型マルシェ～多世代交流で地域を元気に！～			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過 等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
				※別紙添付
使用した 広報手段と その効果	☐ ホームページ ☐ チラシ、広報誌 ☒ facebook 等の SNS ☒ その他（具体的に）口コミ、声かけなど			
	広報の効果 アート村は地域の人々が自走できるコミュニティづくりを目指しており、令和4年度に実施したイベントでは参加者が多く、受け入れがキャパオーバーになって、疲弊してしまった例があった。今回は無理のないコミュニティの広がりを目指し、各自口コミや声かけを行った。 効果として、段々と地域に住む外国籍の方や、大分県内の大学に通う留学生、アーティスト、移住者など、普段なかなかコミュニティが形成しにくい人々がイベントに来るようになった。また、大分大学や芸短大、APU 生、大分県外の大学生の地域学習の場所としても相談が来るようになった。 来年からは体制をさらに整えて、SNS や自治会、回覧板等での広報を目指したい。			
活動目標の報告	会費収入、事業収入や寄付金収入等の自己収益金の拡大、参加市民等の受益対象者の増加目標に取り組んだ結果 イベント毎に参加費・体験料を徴収することで財源とした。十分な収入を得た回もあり、来年度以降の自走するヒントとなった。また、前準備の段階から地域のみなさんを巻き込んだり、どの世代も楽しめるような内容を用意し参加者のみなさんに文化を楽しんでもらったことで、多世代に渡る受益対象者の獲得に繋がる活動ができた1年となった。			
事業の成果	地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入） 地域周辺の高齢者と、若い世代がフラットに交流する姿が印象的。 少子高齢化が進む野津原地域において、自治会が違う地域の方々が顔を合わせる場や、若い世代が集まる場は貴重であり、地区や職域の縦や横の繋がりではなく、「アート」をキーワードにした斜めの繋がりが地域に生まれていると感じる。			
	市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入） 例えば学生が会場の音楽をレコード機器で盛り上げてくださった次のイベントで、多くの地域の方々が家に眠っていたレコードを持ってくるようになった。そのことでさらに若い世代と地域との交流が増えた。他にも、大分県出身でない学生と地域と一緒に地域の行事や、地域のふるまい料理を体験することで、民俗学習や生きがい対策にもつながる。			
来年度に 向けた課題	活動に興味を持っていただく方は増えたが、アート村プロジェクトのメンバーやボランティアが疲弊せず自走していく活動へ繋げていきたい。民俗体験やアート体験をカルチャー教室のように行う案も出ているので、多世代交流の場として更に楽しい活動ができるよう、持続可能な場・体制・資金を整えていきたい。			

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業名： アートやものづくり体験型マルシェ～多世代交流で地域を元気に！～

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	157,752	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入		
事業収入	138,827	イベント参加費
寄附金収入		
その他		
合計	296,579	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	✓ 150,000	有 償 ボ ラ ン テ ィ ア 費 と し て 体験型マルシェ①2023/06/22 6人(7時間/人)×3,000円 体験型マルシェ②2023/07/17 9人(7時間/人)×3,000円 体験型マルシェ③2023/08/19 9人(7時間/人)×3,000円 体験型マルシェ④2023/11/26 9人(7時間/人)×3,000円 体験型マルシェ⑤2023/12/24 9人(7時間/人)×3,000円 体験型マルシェ⑥2024/01/07 8人(7時間/人)×3,000円
旅費		
消耗品費	✓ 100,070	文具類、事務用品類、アートワークショップに係る道具など
燃料費		
食糧費	/ 1,987	体験型マルシェ②2023/07/17 の時の熱中症対策、スポーツドリンクやお茶など
印刷製本費		
通信運搬費		
広告料		
保険料		
手数料・委託費	30,000	チラシデザイン料 (SNS 掲載画像) として
使用料・賃借料	3,000	体験型マルシェ③2023/08/19 太田公民館利用料
原材料費	11,522	イベント等で不特定多数の市民を対象に調理したものをふるまう場合の食材費
備品購入費		
合計	296,579	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※別紙添付 あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書 実施時期/実施場所・実施内容・(目的・経過等)

実施時期	実施場所	実施対象者数	実施内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
体験型マルシェ① 2023/06/22	旧野津原中部小学校を活用したアトリエ (1階ランヂルーム)	20人	アートを通じて多世代交流！ ケーブルドラムの机・椅子づくり(色塗り)、じりやき体験(民俗学習)、 ライブペイント、雛めしのふるまいなど
体験型マルシェ② 2023/07/17	旧野津原中部小学校を活用したアトリエ (1階ランヂルーム)	90人	竹を使ってソーメン流しをしよう ケーブルドラムの机・椅子づくり(色塗り)、じりやき体験(民俗学習)など
体験型マルシェ③ 2023/08/19	太田公民館・七瀬川	60人	施錠鬼船流し体験 供養うどんのふるまい、精霊流しランプづくり、ロゴデザインコンテスト
体験型マルシェ④ 2023/11/26	旧野津原中部小学校を活用したアトリエ (1階ランヂルーム・職員室、2階図書室)	120人	兵庫県大手前大学学生の体験学習受け入れ だんご汁のふるまい、オリジナルロゴのTシャツづくり、自然物を使ったリースづくり、 干し柿300個プロジェクト、かぼすジュースのふるまい、留学生による似顔絵コーナーなど
体験型マルシェ⑤ 2023/12/24	旧野津原中部小学校を活用したアトリエ (1階ランヂルーム)	50人	多世代ふれあいクリスマスパーティー～ レコードDJ(大分大学建築計画研究室)、オーナメントワークショップ、 オリジナルロゴのTシャツづくり、かぼすジュースのふるまい、クリスマスソング大会
体験型マルシェ⑥ 2024/01/07	旧野津原中部小学校を活用したアトリエ (1階ランヂルーム)	80人	多世代もちつき、地元食材をつかった食事のふるまい 思い出キーホルダーづくり、レコード・雑誌持ち寄り展示、音楽を楽しむ時間

